


ディベートクラブ  
「たま。」 presents 

# 「たま。」式 ディベート練習法！





# 1人でできる練習方法

## (原稿作り編)

### ① 反駁原稿作り

文章力↑

思考力↑

反駁力↑

#### ☆やり方☆

- ① 思い付く限りのメリット(デメリット)の流れをフローシートの要領で書き出す。
  - ② 書いたら、横に反駁を思い付く限り書き込む。その際、反駁に使いたい資料があるなら、その内容も軽く書いておく。
  - ③ 書き尽くしたら、実際の試合で使えそうな反駁に印をつける。
  - ④ 印をつけた反駁を、実際のスピーチをする要領(反駁の四拍子)で原稿化する。
- 基本的に1つの論点に1枚で。

M1: 審判が早くなる  
Ink) 1. 審判の重複  
    | CC 判事の 無断  
    | 2. ねじれ国会  
    | ねじれで 時評  
Sol) 111になるので解決  
Sig) 法律を多く作れる  
    | 早く、たくさんつくれる

M2: コストが安い  
Ink) 選挙にはコストがかかる  
    | 云費用かかっている  
Sol) 選挙×コスト ↓  
Sig) 税金だから減らすべき

M3: 正確な交代しやすい  
Ink) ③には異議の審判  
Sol) 111だから1審判員  
Sig) 民意を汲みやすい

Handwritten notes in red and green:

- 1. 同じ審判員
- 2. 実際は意味ある
- 結果同じでも意味ある
- 3. 実際はそう見えるだけ
- 事前打ち合わせしてる
- 1. 多々ほしいし信頼取
- 2. 結論を急いでしまう
- かえって悪い法案できる
- 1. 必要経費
- 2. 実際はもっと少ないの
- 云費用削減
- 1. 今より反映できる証拠
- 2. 汲み取れない民意ある
- 長期戦でできる民意

VS. 民意反映できる

彼らは民意が反映できると言ってましたが、ここは2点反論します。

1. 今より民意が反映できる証拠がありません。
2. 実際はできません。なぜなら、P後は長期戦で出てくる民意を汲み取れないからです。

資料。猫大教授 猫ひろむ『民意より引用開始』  
(内容省略) 引用終了。

よって、むしろ反映できなくなるのでデメリットです。

☆原稿が出来たら、読み練をしましょう♪  
また、原稿はチームメイトも分かるよう  
作ることも大切です。

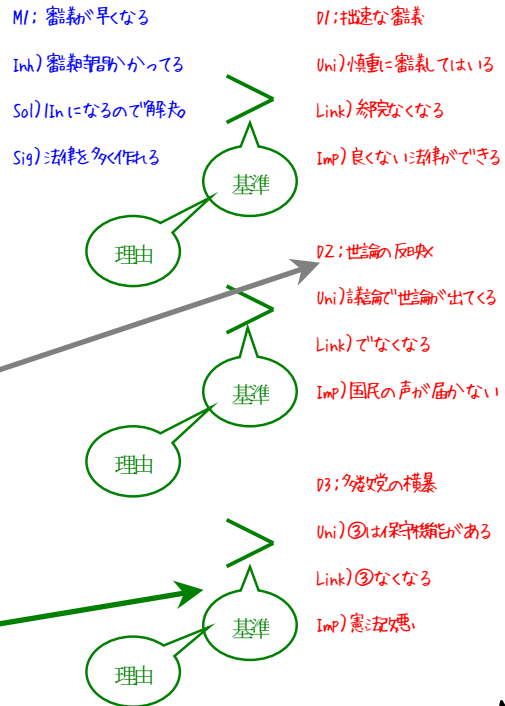
## ②比較作り

思考力↑

比較力↑

☆やり方☆

- ① 紙の左上に自分達の  
**メリット(デメリット)のラベル**を書き出す。
- ② その下に、最低限、**3要素**を  
どう残せるか書き出す。
- ③ 右側に思いつく限りの  
**デメリット(メリット)のラベル**を  
書き出して、同様にその下に  
**3要素**を書き出す。
- ④ 自分達のメリットと  
書き出したデメリットを一つ一つ**比較する**  
比較する**基準と理由**も書き出す。



☆ できたら、**原稿化**するのも  
よいでしょう。

ただし、大抵の場合は試合の展開次第で  
**比較**が予定通りにできなくなったりするので、  
注意しましょう！！

(実践練習編)

③ 読み練

表現力↑

理解力↑

時間配分

☆やり方☆

① 時間を計って、ひたすら立論や反駁などの原稿を声に出して読む。

② 原稿に次のような印をつけておく。

- ・分からない漢字に読み仮名を振る。
  - ・息継ぎする所は「V」、
  - ・強調するところは下線、
  - ・読んでいて区切るところに「/」など。
- ちなみに、根拠や数字は強調した方がいいでしょう。

③ 原稿がどこまでをどのくらいの時間で読めるかチェックして、書き込んでおく。

はじめに、プランを2点に分けて述べます。

1、憲法改正し、2013年より国会を一院制にします。

2、衆議院の解散をなくし、2年毎に半数ずつ改選することとします。

プランによって起こるメリットは審議の迅速化です。

0'13

A~Cの3点に分けて説明します。

論点A 内閣制「審議の長期化」

現在、衆院があることで、審議が長引いていることを2点で説明します。

0'27

1、衆議院の「カーボンコピー化」

現在、衆院は理念を生かせずに、衆院と同じ政党化の系列に完全に組み込まれ、審議の方法も衆院と全く変わらなくなっています。

資料「政治信託論家 足立和昭「衆議院議員選挙権修正案」2008年6月より引用開始」

我が国の議会制度が二院制だとしているのは、衆議院が政党間の力を支える「議の府」であるのに対し、参議院は衆院の暴走を抑え、審議を良識を發揮する「理の府」としての理念を生かそうという点にあった。しかし、現在では、衆院も衆院と同じ政党化の系列に完全に組み込まれ、審議の方法も衆院と全く変わらなくなっている。衆院も衆院の「カーボンコピー」とか「レプリカ」とか、あるいは「ミニ衆院」とか言われるゆえんである。それは補完的機能をそっちのけにして、法案の審議に当たっては、衆院と全く同じ手続き、方法を繰り返してきたことに対する、国民の怒りがはやるだろう。終わりに

つまり、全く同じ事をやっているのに、無駄な労力がかかっています。

1'26

## ④資料反駁

反駁力↑

思考力↑

☆やり方☆

①証拠資料集を見ながら、  
一枚一枚、資料に声を出して  
反駁をする。

②思いつかなくても、しばらくは  
ひねりだす。

☆ポイントは、

「どこまでその資料は言っているのか」  
「根拠はどこ部分で述べられているのか」  
「その資料で言えてない事は何か」  
「前提がおかしくないか」  
・・・といった視点などです。

☆一度やったことある資料でも、後でまた  
やってみると、反駁できたりします。

15、国民は慎重な審議を望んでいる。

資料。コラムニスト、吉本氏 2008 年より  
「国政上の課題が「一刻を争う」ものとはばかり  
決めつけるのは、昨今の市場原理主義的  
なスピード化社会に便乗した悪質な誘導とい  
うべきである。税制や社会保障制度の問題  
など、国家百年の大計ともいえるべき国民生  
活の根幹に関わるような課題は、むしろ将来  
にわたって持続可能なものにするためにも、よ  
り慎重で緻密な審議を国民の多くは求めて  
いるはずだ。」

- 1、コラムニスト吉本って誰？  
信憑性があやしい。
- 2、悪質な誘導の根拠が無い。
- 3、国民の多くは求めているはずだ  
→本当に求めているかは分からな  
い。
- 4、慎重で緻密な審議＝一院制なのか  
わからない。 Etc.

## 2人からできる練習方法

### ⑤ 質疑ノック

表現力↑

理解力↑

質疑力↑

☆やり方☆

- ① ひたすら立論に質疑して、応答する。  
15分とか時間を決めてやる。
- ② 聞くことがなくても、しばらくはひねり出す。

☆ 質疑のポイントとしては、

「主張←根拠がちゃんと論証されているか」

「3要素がちゃんと対比されているか」

「主張と資料が食い違ってないか」「話が飛躍してないか」等の視点があります。



☆ 応答は、簡潔に、正直に、堂々とジャッジの方を向いて答えましょう。

### ⑥ スピーチ練習

表現力↑

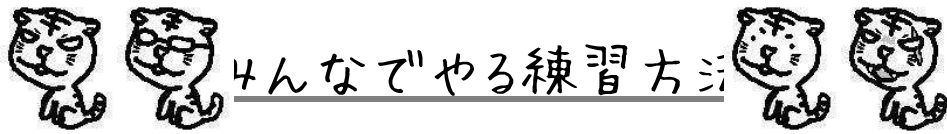
理解力↑

時間配分

☆やり方☆

- ① ひたすら立論や反駁など、時間を計りながら、実戦形式でスピーチして人に聞いてもらう。
- ② 聞いてもらったら、良いところ、改善点などをアドバイスしてもらう。
- ③ アドバイスをもったら、改善点を直して、もう一度スピーチする。
- ④ 以上の繰り返し。





## ⑦通しスピ練

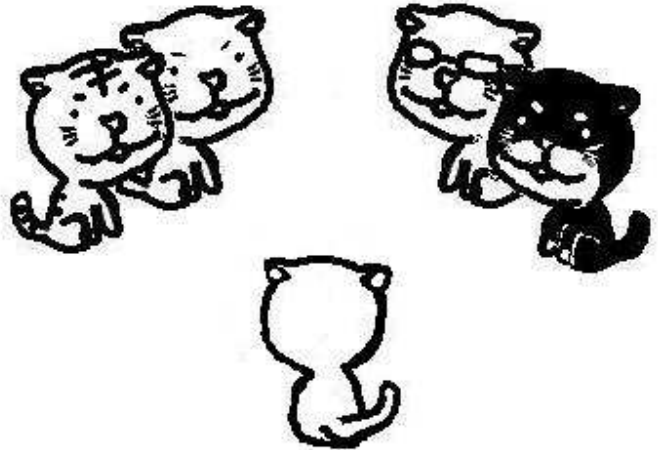
表現力↑

反駁力↑

時間配分

☆やり方☆

- ① 試合形式で時間を計りスピ練をして、人に聞いてもらう。
- ② 1パートが終わる毎に、良いところ、改善点などをアドバイスしてもらう。
- ③ アドバイスをもらったら、改善点を直して、もう一度スピーチする。
- ④ 以上を繰り返す。
- ⑤ 聞いた人のOKが出るまでは次のパートに進まない。
- ⑥ 全パート同じように繰り返す。



## ⑧ 全員反駁

理解力↑

連携力↑

反駁力↑

☆やり方☆

- ① 黒板をフローシートに見立てて、  
メリット(デメリット)を書き出す。

- ② 否定一反の人が、スピーチ形式で  
反駁をして、黒板に書き込む。  
(時間は計らない)

- ③ 否定一反の人が反駁を出し尽くしたら、  
それ以外の人が同じように違う反駁を  
する。

- ④ 同様に肯定1反、否定2反、肯定2反  
まで同じ事を続ける。

☆ 黒板でなく紙を使えば、この練習は1人からでもできます！

☆この練習はその後のフィードバックが大事☆

- ① 例えば、第2反駁でした反駁が、第1反駁で言えることであれば、  
第1反駁の段階で言った方が**効果的**です。そうした場合は、  
書いた黒板を参考にして反駁**原稿**を手直ししましょう。
- ② 2反で**まとめ**、比較がうまくできない場合は、それ以前のパートでの反駁や立論が  
良くない可能性があります。そうした場合は、**どの議論を変えればいいのか**皆で  
考えましょう。



## ⑨ 試合の反省

文章力↑

思考力↑

反駁力↑

☆やり方☆

### ☆試合直後☆

- ① ジャッジが判定を考えている間に、フローシートの裏に、  
自分がその試合で、できたと思った事、できなかったと思う事を書き出す。
- ② その試合のメリットとデメリットが最終的に  
どうなったかを、それぞれ、3文で  
書き出してみる(3要素)。  
それで、どっちが勝ったか判定してみる。

|                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| Ml: 審判が早くなる     | Dl: 拙速な審判       |
| Ink) 審判が早くなる    | Unl) 慎重な審判      |
| Sol) In) なるので解決 | Link) 解決なくなる    |
| Sig) 法律を多く作る    | Imp) 良くない法律ができる |

### ☆ジャッジ講評中☆

- ① アドバイスは必ずメモを取って次に活かす。
- ② ジャッジのメリット・デメリットの評価がジャッジと一緒に、違うか照らしあわす。  
違った場合はどこが違ったのか、なぜ違ったのか考える。
- ③ わからなかったこと、気になったことはジャッジに質問する！遠慮してはダメ。  
負けた場合、「どうしたら勝てましたか？」という質問をしてみると、意外と  
教えてくれます。そこにはきっと自分に足りないものがあるでしょう。

### ☆試合が終わった後☆

- ・以上の点を総合して、自分たちに足りないものは何か考える。  
それを踏まえて、議論や原稿の手直し、必要な練習をやっていく！！



ディベート  
クラブ  
たま。

東京都 国分寺市 を中心に、「多摩地域」の社会人、学生を中心に  
毎月1回 第2土曜を 基本に 活動中!!

ディベートクラブ「たま。」ブログ  
[http://blog.livedoor.jp/kunitachi\\_debate/](http://blog.livedoor.jp/kunitachi_debate/)



©Kenji Takeda 2009, All rights reserved